

第24回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

TDM施策モデル箇所を取組状況

- これまでの検討経緯
- TDM実施モデル箇所について
- TDM実施モデル箇所における交通状況

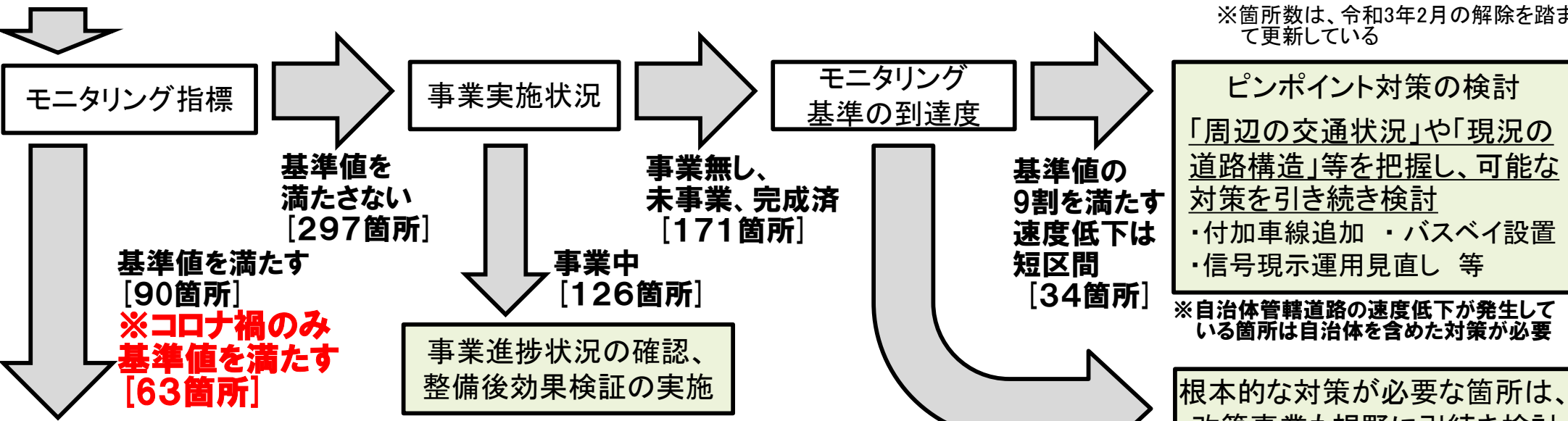
令和3年8月24日

5-1 これまでの検討経緯 (主要渋滞箇所のモニタリング・対策方針検討(対策検討フロー))

○主要渋滞箇所387箇所について、緊急事態宣言中のモニタリング結果をもとに対応方針を検討した。

コロナ禍において交通量が減少

主要渋滞箇所(直轄98箇所・その他289箇所の計387箇所)*



*箇所数は、令和3年2月の解除を踏まえて更新している

【TDM(交通需要マネジメント)施策の推進】

- ・交通手段の変更(パークアンドライド・公共交通、自転車利用等の利便性向上等)
- ・交通需要の時間帯平準化(時差出勤・フレックスタイム等)
- ・交通分散を図る経路変更(HP・デジタルサイネージ等による交通情報提供等)
- ・自動車交通の発生量調整(在宅勤務・ナンバー規制、ロードプライシング等)
- ・自動車の効率的利用(相乗り・カーシェアリング・共同集配等)

※TDM (Transportation Demand Management)
 交通需要マネジメントとは、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組み

5-2 TDM実施モデル箇所について(選定状況)

○前回委員会において、緊急事態宣言中にモニタリング基準値を満たした63箇所のうち、箱根周辺の2箇所の主要渋滞箇所(箱根湯本駅前、三枚橋交差点)を選定した。

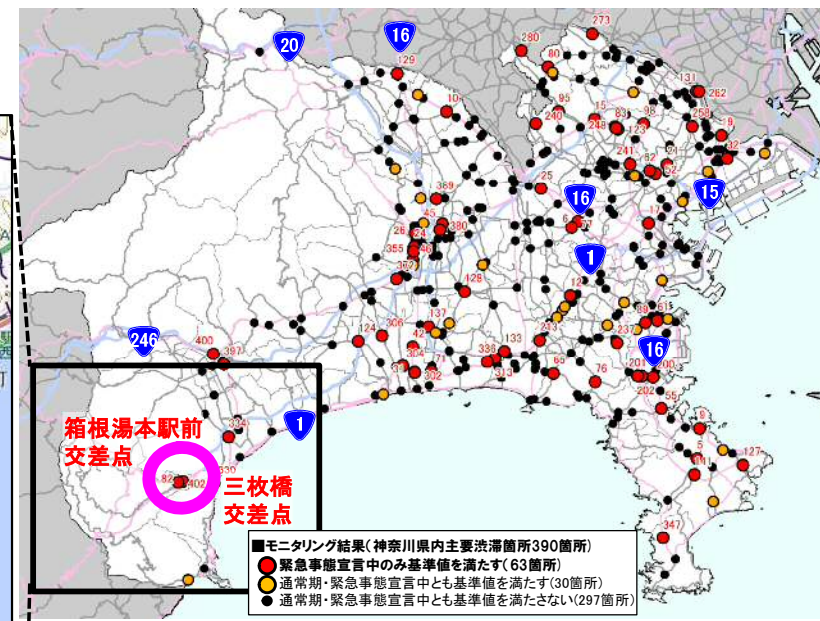
■場所 神奈川県箱根町 国道1号 箱根湯本駅前、三枚橋交差点

1. 位置図

【広域平面図】



【詳細平面図】



2. モニタリング基準値の達成状況 箱根湯本駅前交差点 三枚橋交差点

	コロナ前	コロナ中		コロナ前	コロナ中
指標①	17.5km/h	30.6km/h	指標①	22.4km/h	35.8km/h
指標②	15.4km/h	28.1km/h	指標②	15.3km/h	24.6km/h
指標③	5.3km/h	15.6km/h	指標③	5.4km/h	13.2km/h

※指標①: 平日昼間12時間の平均旅行速度(基準値20km/h)
 ※指標②: 平日昼間12時間のピーク時旅行速度(基準値10km/h)
 ※指標③: 休日5%マイル旅行速度(基準値10km/h)
 出典:ETC2.0プローブデータ コロナ前:H31.1~R1.12
 コロナ中:R2.4.7~R2.5.25

5-2 TDM実施モデル箇所について(具体的な取り組み)

- 箱根DMO(一般社団法人箱根町観光協会)では2021年1月25日より、箱根の交通情報を一元化し、混雑状況の配信を開始した。(神奈川県「混雑緩和に係る新たな観光モデル創出推進事業」として取り組み)
- 「渋滞が発生する国道1号の渋滞情報や大涌谷駐車場の満空情報・待ち時間などの発信」「公共交通2社の運行情報表示デザインの統一化・視認性の向上」「箱根DMOが運営する観光サイトやサイネージ上での情報発信」を通じ、来訪者の渋滞回避・密を回避し混雑の少ないルートへ回遊促進を図ることを目的としている。

■バスロケを利用した所要時間の情報発信概要

(実施背景)

- ・箱根エリアの宮ノ下～箱根湯本間(国道1号)は特に渋滞が発生しやすい

(概要)

- ・路線バスのバスロケーションシステムを活用して、所要時間情報を発信
- ・公共交通機関および一般道路の代替ルート、周辺のスポン情報を表示



■大涌谷駐車場の満空情報・待ち時間の情報発信概要

(実施背景)

- ・県道734号線大涌谷三叉路～大涌谷園地にかけて、慢性的な渋滞・駐車場の許容オーバーが発生

(概要)

- ・満空表示システムの導入
- ・WEB上での情報発信
- ・箱根ロープウェイの各駅で駐車場情報を表示し、箱根ロープウェイへ乗り換えを促進



- ・呼びかけ対象:箱根地域を来訪した観光客
- ・呼びかけ項目:公共交通機関や迂回ルートの利用、待機時間の有効活用
- ・呼びかけ効果:混雑道路・混雑時間帯の回避立ち寄りスポットの来客増

- ・呼びかけ対象:大涌谷を来訪した観光客
- ・呼びかけ項目:混雑状況提示で利用時間帯の変更、代替ルートの利用
- ・呼びかけ効果:駐車場混雑緩和、待ち時間の不満緩和、公共交通利用の促進

5 TDM施策モデル箇所を取組状況

5-3 TDM実施モデル箇所における交通状況

- 箱根周辺では、とくに小田原箱根道路や西湘バイパスと観光名所を繋ぐ国道1号宮ノ下～箱根湯本周辺の速度低下が顕著となっている。
- コロナ前後を比較すると、17時台以降で若干の速度改善が見受けられるが、交通量がコロナ前に比べ12%程度減少しており評価が困難であるため、今夏以降の交通状況を踏まえて施策の効果分析を実施する。

コロナ前(R1GW 4/27-5/6) ピーク時(17時台)



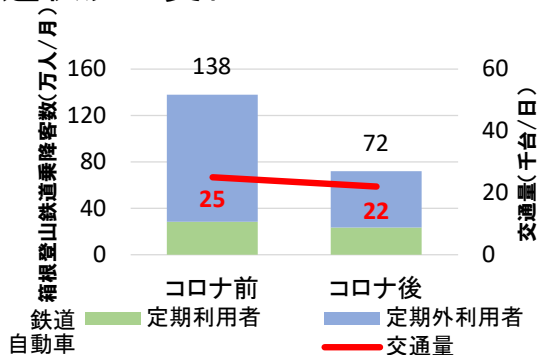
コロナ後(R3GW4/29-5/5) ピーク時(17時台)



■コロナ前後の来客数・交通状況の変化

定期外鉄道利用者...55.7%減
交通量...11.8%減

出典：直轄トラカンデータ (国道1号 入生田断面)
分析時期：コロナ前 H31.4.27-R1.5.6
コロナ後 R3.4.29-5.5
箱根登山鉄道利用者は
コロナ前R1.5・コロナ後R3.5の比較



■コロナ前後の休日旅行速度の推移 (国道1号 宮ノ下→箱根湯本間)

